

協議会名	No.	提言日	件名（提言）	解決済	備考（その後の対応、または経過）
上田中央	1	H20.2.15	中心市街地の賑わいの創出と青少年に希望と誇りを与える「ふるさと上田先人館」の創設と観光事業への利活用について	○	R2 先人館が6/28に開館
	2	H21.9.8	総合保健センター施設整備に関する提言	○	H22.6月 植栽等意見書に配慮し建設が進められ施設オープン
	3	H22.2.2	北国街道を保全活用したまちづくりに関する提言（上田西部地域協議会と合同提言）	△	・学術調査については、所有者の意向も踏まえる必要があり、北国街道沿い全体としての調査は実施していない。 ・「上田市歴史的風致維持向上計画」を策定し、北国街道の道路美化や水路整備、住宅等の修理修景等の実施、また北国街道を舞台にした景観ウォッチングを、市と西部地域まちづくりの会と共催で実施している。
	4	H22.2.2	生ごみ資源化と活用に関する提言	○	R6 施設建設に向けた設計に着手 令和10～収集開始（予定）
	5	H23.12.15	市街地の公衆トイレの整備に関する提言	△	R3 実施困難という結論＝解決
	6	H23.12.15	歴史的地名を保存・活用したまちづくりについて	○	R3 観光課にて作成のパンフレットに歴史的名称を積極的に取り入れた
	7	H25.12.18	「市街地循環バス」の利活用促進について	○	H27.10月 まちなか循環バス運行開始、R1.12月～乗務員不足のため休止、その後廃止 青バス・赤バスは以前から継続運行中
	8	H25.12.18	「地域の安全」のための施策について	○	継続的に市と地域とで協力して取り組んでいくこととして、この提言の課題については解決済みとしている。
	9	H28.1.14	空家等対策の推進について	○	H30 上田市空家等対策計画を策定した
	10	H30.1.17	運転免許返納者に対する交通手段と支援策について	△	各種広報媒体や各種会議、医療機関等で周知に努めています。 高齢者の移動支援策の勉強会を実施するなど、関係組織・庁内関係課の連携を推進していきます。
	11	R2.1.27	公共交通の利用促進と連携体制づくりについて	△	キャッシュレスやパスロケーションシステムの導入により利便性の向上をPRしながら、利用促進を図っています。 「公共交通のり方ガイド（仮称）」の作成を検討しています。
	12	R2.1.27	空家・放棄地問題に対する対策について	△	平成29年に「上田市空家等対策協議会」を設置し、取組を推進している。 相談会は令和元年度から実施しており、相談会には宅建協会上田支部及び解体業協会東信支部も同席している。 空き家活用をアドバイスする人材は確保していないが、利活用が可能な空き家は宅建協会上田支部との協定に基づき、民間委託による空き家情報バンク制度の運用を実施している。 令和2年度に上田市老朽危険空家解体費用補助金や跡地利活用補助金を創設済。
	13	R2.1.27	ごみ問題に係る啓発活動と排出困難世帯に対する支援策について	△	外国籍住民に対し「ごみ分別アプリ」の多言語対応に取り組んでいます。 ごみの排出が困難な方が地域社会で孤立することがないよう、既存福祉サービスにつなぐなどの対応をしています。
	14	R4.1.20	防災問題にかかる提言	△	自治会への加入率の向上、自主防災組織の重要性の周知、研修会の実施等を行っている。民間ホテル等の活用については検討を重ねている。
上田中央地域協議会 提言14件（うち1件は西部と合同）					
上田西部	1	H20.3.3	歴史的遺産の継承と積極的な活用による地域の振興について	△	R4上田市文化財保存活用地域計画を策定し、文化財の保存活動を継続中、建築基準法の緩和は実施困難。
	2	H20.3.3	西部地域にトレッキングコースの整備について	○	コースの多くは民有林であり、全地権者の理解や財源確保も含め「実施困難」で解決済み
	3	H20.3.3	西部地域内の公園管理及び塩尻地区公園構想の推進について	△	公園・遊具管理は日常的にパトロールを実施、塩尻地区の公園整備については上田市緑の基本計画に沿って検討する。
	4	H20.3.3	放課後児童対策について	○	西部児童クラブ、塩尻児童クラブを校内に設置し、土曜日の開館や午後7時までの延長を実施した。
	5	H20.3.3	地域医療について「地域医療の目的は市民の幸せにあり」	○	地域医療体制構築への取組を進め、地域医療への理解を深めるPRなどを様々な媒体を通じて実施している。
	6	H22.2.2	北国街道を保全活用したまちづくりに関する提言（上田中央地域協議会と合同提言）	△	回答は中央公民館と同様
	7	H22.2.2	西部地域まちづくり支援体制の強化と活動拠点等の施設整備について	△	新西部公民館を拠点とした「西部地域まちづくりの会」が設立し、様々なまちづくりの活動を実施している。消防防災センターの整備は全市的な計画はない。
	8	H22.2.2	高齢化社会への対応について	○	第9期上田市高齢者福祉総合計画を作成し、施策を推進している。
	9	H23.12.15	地域が主体となったまちづくり推進のため、西部公民館をコミュニティ活動拠点として早期建替え整備することについて	○	H30年コミュニティ活動拠点として「まちづくり活動拠点室」を備えた新西部公民館が開館
	10	H26.1.31	放課後児童対策について	○	全小学校区に放課後施設が完成するなど、意見が反映されている。
	11	R4.1.20	地域防災「令和元年東日本台風（19号）被害から学ぶ」災害時・平時の「公助」における上田市への防災に関する提言について	△	実現に向けて検討中
上田西部地域協議会 提言11件（うち1件は中央と合同）					
上田城南	1	H20.2.15	上田市城南公民館建替えに係る複合施設としての建設推進について	○	完成済み
	2	H20.2.15	泉田保育園の早期新築・移転について	○	完成済み
	3	H21.3.5	上田市城南公民館建替えに係る建設事業の推進について	○	完成済み
	4	H21.3.5	上田「道と川の駅」の利活用について	○	地域の意見をお聴きしながら施設内容を検討し、交流センター東棟が開館するなど、国・県の管理地を市が占用し、地域活性化拠点として整備した。
	5	H23.12.15	「上田道と川の駅」を活用した地域振興と拠点づくりについて	○	以前より、実施済みだった
	6	H23.12.15	上田城南地域の自然的・歴史的資源の再確認と地域づくりの活用に関する提言	○	平成25年度わがまち魅力アップ応援事業補助金を活用した「天白山」の案内看板の制作など歴史的資源の活用に向けた取組を支援した。城南地域協議会が中心となり、委員が地域巡りを行いながらまとめた「城南地域のたから」等を教材に「城南地域の宝さがし」事業を実施して小学生が地域の歴史等を学ぶ機会を提供している。
	7	H26.1.31	農地の保全と活用についての提言	△	一部実施済
	8	H28.1.14	地域交通の利便性について	△	R3 実施困難という解決
	9	H28.1.14	小中学校児童期におけるこれからの子育てについて	○	学習支援ボランティアの活動拠点の確保については、小中学校に16校にボランティアルームを設置。また、令和2年度にリーフレットを作成し募集や周知を図っている。 平成29年度から「統括コーディネーター」を配置し、地域全体で子どもを支えていく仕組み作りを検討している。
	10	H28.1.14	シニアの安全・安心なまちづくりについて	△	一部実施済
	11	R4.1.20	地域防災について	○	適宜対応中
	12	R4.1.20	高齢者の介護予防・認知症予防に関する地域としての取組みについて	○	実施済み
	13	R4.1.20	地域店舗の利用促進と各関連組織や行政との連携体制づくりについて	△	（1）：デジタルコミュニティ通貨「もん」について、市内事業者に広がりが見えず実証実験は終了となったが、引き続きデジタル地域通貨の研究を進めていくとともに、商工関係団体や支援機関と連携し、デジタルツールを活用した地域店舗PRに関するセミナー情報等を周知してまいりたい。 （2）：意見書の回答による。住民自治組織と連携した動画の作成費用を負担いただくには、住民自治組織のまちづくり計画（事業計画）に位置付けて、予算化することが必要となる。
上田城南地域協議会 提言13件					

協議会名	No.	提言日	件名（提言）	解決済	備考（その後の対応、または経過）
神科・豊 殿	1	H20.2.28	上田市の地域医療体制の充実について	○ △	H26.9 調査ですでに解決済としていたが、当時はNo.1と2を 1つの提言としていたため、2が解決してないので解決した1を件数としてカウントしなかったようだ。そのため今回追加 健康推進課・産院「周産期医療の体制について努力していく」
	2	H20.2.28	神科豊殿地域の公共交通網の整備・充実について	△	地域交通政策課「上田市公共交通活性化プランには一部盛り込み」
	3	H21.2.20	神科・豊殿地区の交通量増加に対する対応について	△	担当課不明「一部対応（県道小師上田線改良事業）」
	4	R4.1.20	減災につながる「住民支え合いマップ」の活用について	△	福祉課「行政から自治会等への個人情報の提供は困難」とする回答
	神科・豊殿地域協議会 提言4件				
塩田	1	H19.11.9	資源循環型施設事業に係る学習会の開催について	○	平成20年2月に2回講座を開催しました。
	2	H20.3.24	地域協議会の今後のあり方について	○	自治会連合会との連携を図るよう提言いただき、自治会連合会へ委員推薦を依頼しましたが、令和4年度には自治会選出委員の負担軽減から地域による任意選出となっています。 ○ 地域協議会委員を対象とした研修会の開催については、協議会の意向を確認しながら開催しています。 地域協議会の役割や活動を知らせるため、地域協議会だよりを発行し自治会回覧しています。
	3	H20.3.24	塩田地域の自然環境や景観の保全について	○	令和元年10月に「ありがとうため池まつり」を開催しました
	4	H20.12.4	塩田地域自治センター整備計画に対する意見について	○	地域の意見を取り入れた施設として、平成23年7月26日に公民館と共にオープンしました
	5	H21.11.18	別所線電車の存続について	○	平成16年度から、安全対策ための補助を行っています。
	6	H24.3.10	地域予算の拡充と決定システムの構築について	○	すでに導入済でしたが平成29年度までの調査では未実施扱いであったため、令和元年度で実施済としました。
	7	H24.3.10	地域公共交通の充実について	○	平成25年10月から運賃低減バスを実施しています。 また、運行継続のため、運行に対する補助金を交付しています。
	8	H26.1.31	地域資源を活用した地域振興の取り組みについて	○	令和4年11月に「全国ため池フォーラム信州IN上田」を開催しました。
	9	H26.1.31	地域内分権の確立と地域福祉活動計画等の総合的推進について	○	平成30年度に協働推進員を配置し、庁内横断的な連携や情報共有を図っています。
	10	H28.1.14	官民一体となった地域振興の取り組みについて	○	提言いただいた「国際かんがい施設遺産登録」ではなく、「日本遺産」へ申請をし、令和2年度日本遺産認定されました。 上田市日本遺産推進協議会を設置して官民一体となり取り組んでいます。
	11	H28.1.14	災害時に生かされる福祉ネットワークの構築について	△	災害時要援護者登録制度の周知については、自治会に対して、説明会（出前講座）を開催するなど勧奨を行っています。また令和6年度から申請書の様式を変えるなど改善を図っています。
	12	H28.1.14	空き家対策について	○	平成28年度に空家等実態調査及びデータベースの整備、平成29年度に上田市空家等対策協議会の設置、平成30年度に上田市空家等対策計画を策定、令和元年度には空家対策室が新設され、相談会も実施しました。令和2年度に、上田市老朽危険空家解体・利活用事業補助金の受付開始し、令和3年度に、上田市空家等対策協議会審議を経て、危険空家1件を特定空家に認定、令和4年度に、さらに危険空家3件を特定空家に認定、また、コロナ禍の諸事情を踏まえ、出張型による計3回の空き家・住宅に関する相談会を開催しました。 令和5年度には、市組織改正により、3課に跨っていた市営住宅管理業務（住宅課）、空き家情報バンク業務（移住交流推進課）、老朽危険空き家に関する業務（空家対策室）を集約し、住宅政策課が新設されました。
	13	H30.1.17	農産物直売所の経営基盤の強化及び農産物加工施設の整備促進について	△	農産物直売所の経営基盤強化については、上田市地産地消推進会議農産物直売所部会と共に、より良い方策を検討しています。農産物加工施設の整備については、生産者自らによって整備されるようにしていきたいと考えています。
	14	H30.1.17	長野大学の活用による地域活性化について	△	地元推薦枠については、平成31年度の入試において5人増やしました。 △ 提言された、大学における地域貢献の義務化は困難ですが、令和3年度から教養科目として「地域協働活動」を開講し、実践的な活動に取り組んでいます。
	15	H30.1.17	里山及び平地部における荒廃竹林整備に対する支援策の創設について	△	平成30年度から地域の方で協議会を立ち上げ、里山整備利用地域の認定を受け、制度を活かした活動をしています。令和6年度には、県民協働による里山の整備・利用事業に鈴子地区が認定されました。上田市でも令和6年度から上田市自治会等による里山整備事業交付金を新設し、荒廃竹林の整備を推進しています。
	16	H30.1.17	災害時における有効な住民への情報伝達手段の創設について	△	市では、災害情報を市民の皆様に向けてリアルタイムにかつ適時的確に発信するため、情報伝達手段の多様化、多重化に取り組んでおり、令和3年7月から運用を開始しました『上田市防災ポータルサイト』をはじめ、Lアラートを通じたテレビやラジオ放送、市公式X（旧ツイッター）やLINE、市メール配信サービス、エフエムとうみのスマートフォンアプリ、地元ケーブルテレビ局との協定に基づく臨時災害放送局の開設など、多様な媒体及び伝達体制を整理してきました。 なお、真田地域では、令和6年度から、タブレットやスマートフォンアプリ機能を活用した情報伝達手段を用いたデジタル化推進事業を、災害時情報伝達手段同報系システムとして位置付け、整備に向けて取り組むとともに、今後、全市域への展開を検討していきます。
塩田地域協議会 提言16件					
川西	1	H20.3.13	川西地域自治センターの早期建設について	○	完成済み
	2	H20.3.13	子どもの農山村交流を中心に据えた地域興しについて	△	H26.9 調査で解決済となっていたが、一部「実施困難」である。R3実施困難という解決
	3	H23.8.31	子どもの遊び場の確保について	-	・遊び場や活動の場の設置⇒「すでに川西地域には14箇所の公園あり。新規で公園建設する場合、地元住民が中心となり進めている。その後の管理運営も地元が中心となり進めてほしい。新規公園建設の要望等あれば、具体的に提言してほしい。」という回答のため、その後の進捗なし。 ・子育て支援センターの充実、児童クラブの開館時間の変更⇒できることは対応済み、児童クラブの会館時間の変更はできない。」という回答のため、その後の対応なし。
	4	H23.8.31	自治センター跡地を活用した住民憩いの場について	○	平成25年11月から、川西地区自治会連合会浦里支部へ跡地を貸付。浦里支部により公園整備等が行われ、憩いの場として活用されている。
	5	H24.3.12	松くい虫防除対策の再検討について	○	伐倒駆除、樹幹注入、樹種転換、抵抗性苗木の支給など組み合わせて、防除していかないと松林が消滅し影響が大きいため、継続して対策していく必要がある。
	6	H26.1.31	体力づくり・健康促進のための多目的交流ひろばの整備について	△	川西地域は住民一人当たりの公園面積は少なく公園整備の必要性は認識しているが、財政上直近の事業化は難しい、という回答
	7	H28.1.14	子育て・子育て支援メールの充実について	○	H29年6月メール配信サービス開始
	8	H30.1.23	ささらの湯周辺へのイベント会場等の設置について	△	R3 実施困難という結論=解決
	9	H30.1.23	農産物加工場の早期建設について	△	R3 実施困難という結論=解決
	10	R4.1.20	有害鳥獣対策の強化について	継続中	意見に対する回答では、ほぼ対応済み。一点、捕獲獣についての解体処理施設、埋設処分場の設置について今後の対応事項としているが、進捗なし。
	川西地域協議会 提言10件				

協議会名	No.	提言日	件名（提言）	解決済	備考（その後の対応、または経過）
上田右岸	1	R4.12.21	「上田・長野間における水道事業広域化の検討」に対する意見について	○	提案に対する対応を進めるとともに、市民への周知を図った
	2	R6.1.29	住民主体による移動支援の取組に対する市の支援措置の恒久的な制度化について		移動手段に係る相談については、関係部局により連携した対応を行うとともに、許認可権者との相談も主体的に関わっていきたい。
	3	R6.1.29	市の子育て支援施策について		CAPについて校長会・教頭会を通じて学校へ周知し、実践的な手法を取り入れ子どもを守るための人権教育を進めていきたい。また学校からの依頼に基づき、人権教育事業を行う場合の小・中学校への一部補助の予算を引き続き確保したい。
	4	R6.1.29	右岸地域の公共施設の新たな整備について（上田図書館、城跡公園体育館、城跡第2体育館、市営住宅）		図書館：建設に当たっては、説明会やパブリックコメント、情報提供を行うとともに意見の繁栄に努めていきたい。 体育館：建設等に当たっては、様々な検討課題があり具体的な整備内容の決定には相当な時間を要する。 市住：平成年代以降に建設された団地については基準に準じた道幅と原則1部屋1台の駐車スペースを田舎している
	5	R6.1.29	公共交通を軸にしたまちづくり推進のため、上田地域の公共交通機関にスムーズに乗車できるようにするアプリの開発について		独自のアプリ開発の必要性が高いものと認識していないが、利便性向上、利用促進のため路線バス情報を経路検索サービス等で検索できる環境整備に取り組んでいる。上田地域の全バス路線が検索可能となるよう進めていきたい。
	6	R6.2.8	上田・長野間の水道事業広域化の検討について		上田長野間における広域化について更なる具体的な検討に取り組み、方向性を見出していきたい。
	上田右岸地域協議会　提言6件				
上田左岸	1	R6.1.29	上田市のまちづくりに関する補助金等の検討について	○	県内19市へ同様の補助制度の調査を実施し、上田市の制度が低い設定でないことを確認するとともに、引き続き財源確保に努める
	2	R6.1.29	「食事を介した多世代交流の場」への支援について		活動の周知等については県と市が連携をとり実施しており、今後も情報提供を含め、周知に努めたい。公民館の使用料については方向がきまり次第説明していきたい。
	3	R6.1.29	城南、塩田、川西地域の既存資源を有効活用した地域活性化策について		現在も商品開発や味噌づくり講座など地元関係団体と連携しながら支援を実施している。今後も生産団体と連携をとりながらブランド化に向けた支援に取り組んでまいりたい。新たな販路開拓、拡大については、関係部局で連携を図りながら周知等協力していきたい。
	上田左岸地域協議会　提言3件				
丸子	1	H19.11.21	依田川リバーフロント市民協働事業（仮称）について	○	平成21年11月に実行組織となる「依田川リバーフロント市民協働事業実行委員会」を発足。平成29年7月施設整備（ウォーキングロード、植栽、駐車場）が完了し、実行委員会が中心となり、有効活用について検討されている。
	2	H21.12.18	防犯灯のLED化について	○	上田市防犯灯設置事業等補助金が平成23年4月から改正され、LED化に対応した制度となった。（平成27年度で終了） 丸子地域のLED化率（平成元年9月現在）ほぼ100%
	3	H22.2.25	地域協議会のあり方について	○	協議会の意見については、協議会だよりやホームページにより公表。自治会や住民自治組織との違いを明確にし、任務等の説明を各組織の会議等で行っている。 丸子地域予算については、丸子地域の振興事業や地域内分権の推進に関する事業予算の財源として活用している。
	4	H24.3.28	わがまち魅力アップ応援事業に関する提言	○	平成25年度に制度改正を行い、補助期間を2年から5年に延長した。平成24年3月から丸子地域市民活動団体交流会を毎年開催し、実績についての報告と課題等について討議している。
	5	H24.5.21	丸子地域循環バス「まりんこ号」の運行見直しに関する提言	○	提言いただいたルートを参考に新しいルートでの運行を平成29年4月から開始した。
	6	H25.10.25	丸子の地域経営会議の設置に関する提言	○	平成27年3月20日「丸子まちづくり会議準備会（地域経営会議）」が設立された。平成28年3月「丸子まちづくり会議」設立に伴い「地域経営会議」は解散。
	7	H25.12.17	信州国際音楽村及び周辺整備に関する提言	△	4つの提言があり一つ解決（バラ園整備）
	8	H27.10.28	丸子地域循環バス『まりんこ号』の運行ルートの見直しについての提言	○	H29.4月から提言を参考としてルートで運行
	9	H27.11.25	丸子地域における子育て支援環境の整備充実についての提言	△	R3　実施困難という解決
	10	H27.12.15	文化財保護事業に関わる補助金の補助率等の見直しについての提言	△	令和元年度に上田市文化財保護事業補助金要綱の一部を見直し、交付金対象になっていなかった「無形文化財無形民俗文化財の祭具修繕」についても対象となった。
	11	R2.2.26	丸子地域在住児童生徒に対する通学補助の見直しについての提言	○	通学費補助が市で統一となり補助対象となった。
	12	R5.1.16	循環バスからデマンド交通への転換についての提言	○	転換済
	丸子地域協議会　提言12件				
真田	1	H19.10.1	真田地域における図書館施設の整備に関する意見	○	完成済
	2	H20.8.1	真田地域における図書館施設の整備に関する意見	○	完成済
	3	H22.2.3	真田地域における観光の推進に関する意見	○	H30.9月菅平高原アリーナがオープン
	4	H24.1.20	創意と工夫の地域づくりの推進「地域づくり委員会の継続発展に向けて」	○	平成24年地域づくり委員会要綱を見直し、広域的協議課題への対応や地域課題の協議の場とし、地域予算の確保も行った。
	5	H24.1.20	真田地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備について	○	平成23年10月に「真田地域公共交通利用促進協議会」が設立され、増便やバス停の新設した。各種取組を行い、地域住民への利用促進も行っている
	6	H24.1.20	安心して暮らせる地域づくりの推進「真田地域の防災について」	○	消防団等との合同訓練は、市内の防災訓練に合わせて、地区連単位で持ち回りで行っています。防災リーダー会議や防災訓練の際に避難場所の周知を行っています。災害時要援護者登録制度については、全自治会で説明会を実施しました。
	真田地域協議会　提言6件				
武石	1	H18.11.13	広報うえだ「武石版」の発行について	○	平成19年5月から各月で発行している。
	2	H19.6.29	武石地域における子育て支援施設等の建設について	○	平成22年度に学童保育所が併設された武児童館が開設された。
	3	H20.11.6	市町村合併による制度統合にともなう激変緩和措置について	○	持ち寄り基金にて対応した。（雲浜荘・うつくしの湯。番所が原スキー場武石住民利用補助、土地改良負担金）
	4	H22.2.26	武石地域全域公園化構想について	○	公園構想推進事業として、地域振興事業基金を活用し継続実施していく。
	5	H29.3.16	武石地域の新たな情報伝達手段について	○	H29.12月完成。平成30年1月1日　住民自治組織が運営主体となる新情報伝達無線システム（エリアトーク）が運用開始
	6	H31.2.21	上田市岳の湯温泉雲浜荘の存続について	△	
	7	R3.7.19	武石公民館図書室及び学習室の運用について	△	R4.3月に実施困難という結論。但し、今後の武石公民館図書室の運営体制の安定化に向けて、利用促進に係るイベント等の企画、また貸館的な位置づけ等については検討し実現を図る。
	8	R4.3.17	岳の湯温泉雲浜荘の今後のあり方について	△	
	9	R5.8.23	武石地域における温泉施設の今後の在り方について	△	平成31年（No6）、令和4年（No8）にも雲浜荘の存続、在り方についての意見書が提出されており、継続して検討してきたが、令和5年10月に今後の方向性についての回答により解決。但し、今後も市の方向性に対し報告を受け、市から意見を求められた場合は随時協議する。
	武石地域協議会　提言9件				